



●スミイカは300〜500グラム前後が多い



●久比里のスミイカはこの時期ならではの釣り物

## 早春の久比里名物 スツテで狙うスミイカ

撮影◎伊井泰洋  
三浦半島久比里出船



●モンゴウイカは1キログラムを超える大型も交じる

◀テンヤスミイカ竿など先調子の竿をシャクって乗せる



▲竹岡～久里浜沖まで広範囲に探る

### 澄み潮と濁り潮でスツテを使い分け



●宿の受付ではこれら4色のスツテと胸つき(ダウンショット)仕掛けが販売されている

山下丸のスツテスミイカで使うスツテは4色が基本だ。潮が濁り気味のときはオレンジ、ピンク、澄み気味のときはブルー、グリーンと使い分けるといい。潮の濁り具合や直近の当たりカラーについては遠慮なく船長に聞いてみよう。

三浦半島久比里の山下丸でこの時期になるとメニューに加わるのがスツテで狙うスミイカ。ご存じのように今シーズンにはスミイカの模様がよくないので、モンゴウイカを視野に入れながらの出船となっている。釣り場はスミイカが久里浜〜鴨居沖の水深30メートル前後、モンゴウイカは竹岡沖の水深25メートル前後。いずれも数は多くないが、シャクった竿をスシリと止める快感は変わらない。春にカサゴが始まるまでの期間限定の釣り物なので、なるべく早めに釣りしよう。

(詳細は52ページ参照)



◎三浦半島久比里・山下丸  
山下 克範船長